

在コルカタ日本国総領事館管内安全対策情報  
平成25年度第4四半期（平成26年1月～3月）

1 社会・治安情勢

当館が管轄する西ベンガル州，ビハール州，オディシャ州，ジャールカンド州においては，極左武装勢力マオイストの脅威が存在しており，今期中は以下のような事案が発生した。（当地紙報道ベース）

1月25日，ジャールカンド州ギリディ郡において，マオイストが首相地方開発計画調査員を含む4名を拉致し，同月27日，人質解放作戦に従事していた中央警察予備隊（CRPF）を襲撃したことにより，隊員1名が死亡，15名が負傷した。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当館が所在する西ベンガル州コルカタ市は，人口の都市集中、失業者の増大，貧富差の拡大を背景として，犯罪が高止まり傾向にある。殺人，強盗，強姦等の凶悪事件も多発しており，性犯罪被害は連日のように報道されている。コルカタ市やビハール州の観光地ブダガヤなどで，バックパッカーなどの短期邦人旅行者が列車内や駅周辺，繁華街（コルカタのニューマーケットなど），安宿街（コルカタのサダル・ストリートなど）において，スリ・置き引き，睡眠薬強盗及び各種詐欺の被害に遭っている。今期中，日本人が殺人・強盗などの凶悪犯罪に巻き込まれた事案は認知していないが，以下のような犯罪被害が発生した。

- （1） 1月下旬、観光地のブダガヤにおいて、邦人短期旅行者（女性）が現地で知り合ったインド人から周遊観光に利用するためのバイクのレンタルを勧められ、インド人の言われるがままにクレジットカードで手続きしたところ、後日、カード会社から高額な請求を求められるという詐欺被害が発生した。
- （2） 2月中旬、コルカタ市内で邦人短期旅行者（女性）がインド人から声をかけられ、一緒に行動するうちに恋仲となり結婚したが、後にそのインド人は結婚詐欺者であることが判明した。
- （3） 2月中旬、コルカタ市内のハウラー駅構内及びビハール州の観光地ブダガヤで邦人短期旅行者（女性）が強制わいせつ及び窃盗被害に遭った。被害者は警察署に被害届を提出し、現在捜査中。
- （4） 3月上旬、コルカタ市内のホテル客室内で邦人短期旅行者（男性）が窃盗被害に遭った。被害者は警察署に被害届を提出し、その後被疑者は逮捕され、裁判の後、被害者に金品等が返還された。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当期中のテロ・爆弾事件の発生はない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事案は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業がターゲットにされた事案及び関連情報なし。